

平成 29 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(生涯学習センター)

開催日時	平成 29 年 11 月 30 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	生涯学習センター	
町民参加者	男 19 人 女 3 人 (50 代 2 人、60 代 8 人、70 代以上 12 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、保険健康課長、福祉課長、環境課長、定住対策課長、生涯学習課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

○防災行政無線・Jアラートについて、現在戸別受信機を設置しているところは 760 世帯で全世帯の 4 分の 1 ほどあるとのことだが、高性能スピーカーを導入するにあたって、コスト削減のために屋外子局を廃止したところ以外は、戸別受信機を廃止してはどうか。

○戸別受信機は、全額自己負担としてはどうか。

《テーマ：空き家等の対策について》

○現在、町内には空き家は何軒あるのか。またその空き家は借りる人がいれば住める状態なのか、あるいは修繕しないといけないのか、又は所有者が解体にお金がかかるためそのままにしているのか。空き家の所有者はどういう考えでいるのか。一方で、山北に住んでも良いという人のリストやこういう条件がそろえば山北に住んでも良いという人のリストを何人持っているのか。定住対策課が中心となり 1 件 1 件マッチングする作業をやっていかなければいけないと思う。山北には良いところがあるので、県の協力も得ながら横浜や川崎などの人に、山北に住んだらどうかという大々的なキャンペーンをやったらどうか。それに自治会も協力できるなら自治会からも応援に行く。空き家の所有者の考えを聞くと同時に空き家さがしをしている人を県の力を借りて引っ張りだし、マッチングする。条件が合わなければそれに対して町が補助を出すのはどうか。駅前には町営住宅を建てるのではなく景観を守っていった方が良い。

○移住してくる人を待っている姿勢に感じる。川崎や横浜には人がたくさんおり、狭いアパートに住んでいる人も多いので、良い自然がある山北町に来て良いという人は、ある程度いるのではないかと。自治会の人を使って町がキャンペーンをした方が良い。もっと抜本的な対策をしてほしい。

○空き家対策に関しても基本的な問題は人口減少である。山北町の人口は平成 26 年から平成 27 年で 300 人、平成 27 年から平成 28 年で 316 人、平成 28 年から平成 29 年で 276 人減っている。2030 年には山北の人口が 8,000 人台になってしまう。開成町はどんどん人口が増えている。開成町に 20 人ぐらい職員を派遣して勉強すればよいと思う。

○新東名の工事の関係で人が増えるとの説明であったが、ほとんど通いである。現場員も少ない。宿舎を作っているが、泊まるわけではないのでは。

○新幹線を使って千葉まで通勤していたが、小田原東京間で新幹線の定期が月7万円である。在来線は月4万円であり、差額の3万円については勤務先から支給されない場合がある。その差額に対して通勤費として補助をするのはどうか。通勤費の補助があれば山北に残る人もいないのか。

《テーマ：町政全般》

○前回の町議会議員選挙は定数が14名で無投票であった。次の選挙でも議員定数14名のまま無投票となるのは問題ではないか。松田町の方がやや人口が多いが議員定数は12名、開成町も人口が多いが12名である。

○朝夕、小学生の登下校の見守りが山北地区では2年前くらいに廃止になった。私たちも負担がない範囲でできればと思っているので、町で仕組みを作ってもらえないか。

○桜は桜で良いが、秋のために紅葉を植えたらどうか。山や平地はたくさん空いているので土地を無償で提供してもらえ人を募ったり、賛同する人の寄付を募ったりして紅葉の名所を作ってはどうか。西丹沢は今とてもきれいで、第2東名が開通しスマートインターチェンジができたとしても混むと思う。その人たちを山北の町の中にも呼び込むことができるのではないか。

○三保の方は人が来るのを嫌っていると思う。協力してもらおう方法を考えてほしい。

○山北町は道路が多く今後、第2東名も開通する。道路が多いと廃棄ガスが多いので、子供の喘息が多くなる。川村小学校児童の11パーセント、三保小学校児童の8パーセント、山北中学校生徒の7パーセントが多少なりともぜんそくの症状がある。対策は考えているか。

○山北体育館について耐震強度の問題で使用不可となり、過日、自治会長や利用団体を集めた説明会があった。その際、体育館はできないが柔剣道場と地域のコミュニティルームを作る計画があるとのことだった。わかる範囲で時期・場所・規模について教えてほしい。作るにあたっては作った後に使い勝手が悪かったということがないように、事前に利用団体へのヒヤリングなどを行っていただきたい。